

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ポップステップジャンプ		令和8年 2月 27日				
		チェック項目		工夫している点	課題や改善すべき点	
		はい	いいえ			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0	施設内には基本的には物を置かず、広く落ち着いた空間を心掛けている。	遊びと学習のスペースの仕切りをしているが、行き来が自由な為しっかりと区切れていない。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	0	職員の配置は常に気を付けており十分な支援が行えるよう気を付けている。手薄にならないよう動きや役割など職員間で連携を取っている。	有休が重なってしまう事が調整が必要な事がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	3	段差や階段での怪我に備えて滑り止めのマットを敷いたり、職員が必要に応じて援助を行うようにしている。	段差など危険な箇所もあるので手すりやスロープなど必要に応じて設置していくと良いと思う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0	清掃と整頓は常に気を付けており、毎日実施している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0	個別支援を行う際やクールダウンの為個室を使ったりして落ち着ける環境は使えるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	0	業務改善の取り組みとして毎日、ミーティングを行い職員間での連携を図っている。また必要に応じて緊急で会議をするなど日頃から質を上げるための取り組みをしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	保護者からのご意見等は職員全員に伝達し、情報共有できるようにし、改善策などを話し合い実施するようにしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	保護者からのご意見等は職員全員に伝達し、情報共有できるようにし、改善策などを話し合い実施するようにしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	10		今後は第三者による外部評価を検討していきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	毎月社内での研修や必要に応じて施設外研修にも参加している。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0		支援プログラムを作成しているが公表できていないのが現状。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	0	定期的にモニタリングを行い保護者の方のお困りや悩みをお聞きし、課題の解決に向け支援計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	モニタリング後は職員で策定会議を行い支援方法などを話し合い、支援計画を立てるようにしている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0	職員間で支援計画に基づき支援ができています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0	本人支援等の項目ごとに設定し、個々に合わせた支援が出来ている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	毎回チームで行われている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	個別と集団での活動を組み合わせて支援出来ている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	0	個別と集団での活動を組み合わせて支援出来ている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	支援開始前に職員間でしっかり確認や打ち合わせ等を行いその日のスケジュールを全員で把握している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	0	毎日終礼を行い、振り返りや申し送りをその日のうちにするようにして情報共有をしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	小さなことでもしっかり記録に残すようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0	定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直し等を行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	10	0	支援計画を立てる際に4つの基本活動を取り入れているので支援の際に念頭に入れながら支援を行えている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	10	0	活動の際、子どもの自主性、主体性を発揮できるような場面を多く作す支援内容にしている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	1	参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0	医療機関やその他教育機関等と連携を取りながら支援体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。				
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。				
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	1	必要に応じてスーパーバイズなどに相談できている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	5	地域のイベントや活動に参加したり交流する場面はあるがこども園等の交流などは実施していない。	今後交流する場の拡張も視野に入れられる範囲で参加していこうと思う。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	4	参加してる。	積極的には参加できていない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	活動の様子などをお伝えしたり困りがないかなどをお聞きするようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	0	ご家族の方も対象に講演会などは行った。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0	契約の際など丁寧にお伝えするようにしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0	保護者様と直接ご意向についてなど確認する場を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10	0	サービス開始前に計画内容を保護者に説明し同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	定期的にモニタリングを行ったり、必要に応じて臨時で話し合いの場を設けるなどしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	6	開催できていない。	今後交流する場などを作ることも検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	苦情やご相談があった際は早急に内容をお聞きし、対応を行っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	0	活動の様子などは随時SNSで発信し情報を保護者にお伝えしたり個別に写真や動画などもお伝えしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	鍵付きのロッカーにて保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	個々の発達特性に合わせ工夫し、適切な伝達方法を用いている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	4	各種マニュアルの作成し、定期的に訓練を実施している。	利用日でない日の実施もあるので全員が参加できていないのが現状。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0	各種マニュアルの作成し、定期的に訓練を実施している。	利用日でない日の実施もあるので全員が参加できていないのが現状。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0	年に数回計画書に基づき訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0	服薬、転換等のある子どもへの状況、対応についても職員間でしっかり確認出来ている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0	医師の診断書に基づき適切な対応が出来ている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0	安全計画に基づき、研修、訓練を実施している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0	安全計画に基づき訓練の実施をした際はSNSにて保護者に報告している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	ヒヤリハットは起きた時に報告書にて記載して再発防止に向け会議を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	年に数回職員研修を実施している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	0	現在対象児はいないので必要な場合は計画を作成したい。		